



# \* 認知症サポーター養成講座 \* が開催されました

「認知症サポーター」とは認知症に関する正しい知識を持ち、地域等において認知症の人や家族を温かく見守り、自分でできる範囲で支援する人のことです。

日 時： 令和3年4月27日(火)  
 5・6校時 ( 13 : 30 ~ 15 : 20 )

場 所： 本校 体育館

協 力： 調布市地域包括支援センターつつじヶ丘  
 調布市社会福祉協議会 G<sup>2</sup>-カイズ



受講事前アンケート記入



認知症サポーターは、『なにか』特別なことをする人のことではありません。



**認知症の人とせつする心構え**  
 認知症の人は本人が誰よりも不安で苦しんでいます。  
 記憶はなくなりますが、感情は失いません。  
 さりげなく自然に接しましょう♪

**3つのないの心得**  
 驚かせない  
 急がせない  
 自尊心を傷つけない

- 地域に住むひとり一人が見守り、支えていくことの大切さを理解する。
  - 認知症の方良い対応の仕方を学ぶ。
  - ご家庭でも、認知症について語り合うきっかけとなって欲しい。
- 目 的**



悪い対応編

市民劇団G<sup>2</sup>-カイズによる寸劇



まず認知症を理解することが大切です。

おじいさんが自動販売機で飲み物を変えず困っているようです。もしそばにいたら、あなたならどうしますか？



良い対応編



やさしく、  
ゆっくり、  
大きな声で、  
説明して  
あげよう。

次におばあさんが一人で  
買えるように  
丁寧に教えてあげよう。



受講事後  
各教室にて  
アンケート記入

認知症サポーター  
認定書贈呈♡



「スルーしてしまう・・・」  
おそらく同じような場面に出くわしたら  
このいる生徒さんだけでなく、多く  
の方がそうしてしまうかと思ひます。  
今日の講義を受けたことで、皆さんが  
変わる『きっかけ』になったら嬉しいで  
す。



・私達にはどうしようもないことだと思っ  
ていましたが、私達の対応によって症状  
が変わることを学びました。  
・もし父や母が認知症になったら、しつこく  
ても優しく接したいです。  
・寸劇によって、どんな対応をすればいいの  
かがよくわかった。寸劇をやってくださり  
ありがとうございました。  
・寸劇がけっこう面白かった。  
・前から知っていたので、認識は変わりませ  
んでした。

・認知症は治せないと思っていましたが、治療や  
周りの人のサポートにより、進行を遅らせるこ  
とができることを知りました。  
・認知症の方の思いを考えながら接することが大  
切だということがわかりました。  
・認知症は別に悪くないと思ひました。  
・認知症には、いろいろな症状があることがわか  
りました。  
・もし家族が認知症になったら、今日学んだこと  
を生かして正しくサポートしていきたいです。  
・高齢者が増えている今他人事ではないと思ひま  
した。  
・認知症の人が一番苦しんでいることがわかりま  
した。質問に答えてくれてありがとうございました。



地域包括別高齢者人口  
(平成3年4月1日現在)

**\*調布市地域包括支援センターとは\***  
高齢者のご家族のための総合相談窓口。介護予  
防をはじめ様々なサービスの利用や、虐待の早  
期発見・防止など、高齢者に関する総合的な窓  
口。相談・支援には、社会福祉士、保健師、主  
任ケアマネージャーなどが担当。気楽にご相談  
下さい。  
仙川町、緑ヶ丘、若葉町・西つつじヶ丘・東つ  
つじヶ丘、菊野台の一部の地域担当は  
調布市地域包括支援センターつつじヶ丘  
03-5315-5400

	前期	後期	高齢者数	総人口
ちょうふの里	3,554	3,770	7,324	32,034
ちょうふ花園	3,731	3,751	7,482	39,281
ときわぎ国領	2,893	3,671	6,564	26,961
ゆうあい	3,523	4,054	7,577	32,810
至誠しばさき	2,821	2,824	5,645	27,232
はなみずき	2,293	2,836	5,143	26,087
つつじヶ丘	2,321	2,822	5,143	26,087
仙川	2,983	3,531	6,514	30,893
市全域	24,119	27,259	51,378	238,087



\* 高齢者 = 65歳以上の方 前期高齢者 = 65歳～74歳 後期高齢者 = 75歳以上